

オーケストラ・コンサート情報満載!

38 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース
加盟オーケストラ コンサート情報 2022年4月~7月
~コンサート津々浦々~



Vol.107
2022年4~7月

「コロナ禍で得たもの、感じたこと」 尾高忠明マエストロへの インタビュー



Contents

「コロナ禍で得たもの、感じたこと」	
尾高忠明マエストロへのインタビュー	2
子どもたちにオーケストラを♪	4
英国オーケストラ連盟年次総会から	6
リレーエッセイ	7
【新聞記者の目】	
コロナ禍の逆境でプロオーケストラの存在意義 —— 山本哲朗	8
News & Topics	9
コンサート津々浦々	10
インフォメーション	20

「コロナ禍で得たもの、感じたこと」

尾高忠明マエストロへのインタビュー

インタビュー：日本オーケストラ連盟 桑原 浩



写真提供：NHK 交響楽団

コロナ禍の長期化は、オーケストラの活動を改めて振り返り、今後の活動を見直す機会となった。そこで今回は尾高忠明さんに指揮者の立場から、コロナ禍でのオーケストラとの取り組みを振り返っていただき、今、オーケストラと共にあつて思うことを伺った。

* * * * *

お客様の前で演奏する大切さ

——現在、コロナウイルスのことも次第にわかっていく中で認識も対策も変化してきています。当初はオーケストラ側から見て外部から客演される指揮者に対して、PCR検査を受けるように厳しく求められることがあったと思いますが、どのように感じましたか。また、コロナ禍を経験したことで、改めて気づかれたことは。

尾高 PCR検査は全員受けるに越したことはないのですが、コストがかかるのでオーケストラ全員受けられなかったのは仕方なかったと思います。指揮者はその職業上、他の演奏家に比べ、大きな声で話す機会が多く、飛沫が飛ぶ可能性が高いので、指揮者にPCR検査やマスク着用を求めるのは仕方ないと思います。

僕の場合は、対策を自分で考えた結果、持ち運びできる小さなスピーカーを使って話すようにしています。小声で話しても遠くの奏者まで聞こえます。「コロナ禍が収まっても使いませんか？」と提案されるくらいです。

いろんな対処法があるので今は国の政策が間違っていたと指摘するよりもこれから先

をどうするか考えていかなければならないと思います。

2020年3月～6月頃、仕事が無くなってしまった時に普段の生活ではできない勉強ができたというのはコロナ禍で得をした部分でした。

しかし、3カ月経って久しぶりに大阪フィルと練習場に集まったら、それだけで涙が出てくる。そしてジュピター交響曲の初めの音を出したらみんな感極まって。そこに少しのお客様が入っていただいた時、お客様の拍手がこんなにも嬉しいことなのかと、やはり僕たちの糧はこれなのだと感じました。あの時の気持ちは一生忘れたくないです。

その後、7月に行った新日本フィルの演奏会では、ライブ配信でも良質な音が提供できると聞き喜んでいたのですが、演奏後お客様の「ブラボーを言いたいけど言えない」という気持ちのこもった熱い拍手に感激し、「生でお客様の前で演奏する」という行為が演奏する側にも、お客様にとってもいかに尊いかを感じました。

若手指揮者の起用を生む

——マエストロ自身も外国人指揮者が来日できなくなり、代役を務めるなど忙しかったと思いますが、一方で多くの若い指揮者が代役に起用されることが増えました。若手指揮者たちはそのチャンスを上手く活かせていましたか？

尾高 外国人が来日できないと聞いた時、才能ある若い指揮者が活躍するチャンスだ

と思ったので、色々なオーケストラに起用をお願いしました。実際に多く機会を作ってくださったオーケストラの一つはN響でした。老舗のイメージが強く、決まった指揮者しか振れないのではと若手も思っていましたが、そういう人たちを起用してくれました。また、楽員からも良い反応が返ってきました。

こういった流れはコロナ禍が生んだ良い面でした。若い時に沢山仕事することは乱雑にになってしまうと内容が落ちてしまいますが、失敗にせよ成功にせよ、チャレンジする機会が増えたのは良いことだと思います。

私たち高齢の指揮者にとっても、数十年振りに、例えば広島交響楽団と共演することが出来て、その楽団の成長に驚くとともに、改めて今の日本オーケストラのレベルの高さを実感する機会となりました。

グローバルな動きを…

——日本の水際対策が海外よりも厳しいことで、クラシック市場から日本が取り残されるのではないかとという危惧があります。

尾高 日本は英国もそうですが島国ということもあり、自分たちだけ安全ならば良いという意識が国民の中にも少しばかりあるのではないのでしょうか。本来は世界中で手を取り支え合う意識でいなければならなかったと思います。これからは世界のスタンスと自分たち日本のスタンスとを見比べて、同じように動いていかなければならないと思います。

日本が鎖国していた時代に、ヨーロッパでクラシック音楽が発展したので、まだ日本に

は、斎藤先生も言うておられた、とにかく「ものまね」から学ぶという精神が残っていて、日本人のオーケストラを日本人のみが指揮するだけでは、自分たちでは気が付かない要素がまだあると思います。

日本のオーケストラは、海外の指揮者、日本人の指揮者は海外のオーケストラと共演することで自分の中に「何か」もたらされるものがまだあり、それが後に大事になってきます。そして相互に交流することで海外と日本のそれぞれの良さを理解するなど、グローバルな動きが早く戻ってきてほしいと思っています。

僕が海外のオーケストラとの仕事を体が許す範囲は続けなくてはいけないと思うのは鎖国していたツケだと思えますね。

「オケが自分のお客を持つこと」

——日本オーケストラ連盟では、文化庁アートキャラバン事業として「オーケストラ・キャラバン」を開催し、マエストロにも1月に大阪フィル高崎公演で指揮していただきました。

この取り組みの中で、近年オーケストラが一般の方に向けた地方ツアーをしていないことに気づきました。立派なホールはあっても、地方で音楽会ができる予算や仕組みがなく、芸術文化の享受に格差を感じています。地方での公演の重要性や現在の状況をどのようにお考えでしょうか。

尾高 アートキャラバン事業はとても素晴らしい企画でした。高崎に行った時、大阪フィルもお客さんも喜んでいて、これからも続けたいと思いました。以前は文化庁移動芸術祭というものがありました。他にも様々なスポンサーがお金を出してくれて全国を回る企画がありましたが、今はそう言った企画がどんどん減っているのがとても残念です。

日本にもっとオーケストラがあっても良いでしょう。自分たちのホールで自分たちのお客さんを持っているというのは、文化だと思えます。日本にはドイツやフランスと比べてもそれ以上の素晴らしい市民会館やホールがあります。

「芸術は「心の栄養」」

——オーケストラ運営はコロナ禍でますます存続することが大変な状況になりました。オーケストラは経営基盤の柱を、それぞれ強化することが求められています。

第1の基盤は、文化庁の「舞台芸術創造活動活性化事業」です。これはトップクラスの芸術団体の定期演奏会など芸術的な質の高いものを評価して支援されるもので、オーケストラの場合、最大1億円頂いています。

第2は民間、地方行政、上記以外の国からの支援です。それには社会貢献的な活動が求められ、例えばクラシック音楽の普及のための活動、教育的な価値を持つ活動、社会包摂的な活動などを演奏会やアウトリーチ活動などで行うものです。

第3は演奏会による直接的な収入です。これまでオーケストラを支えてくださったお客様も高齢化し世代が代わり、余暇の使い方も多様化する中で、新たなお客様の獲得は簡単ではありません。この3つがバランスよく存在していかないと運営は難しいのではないかと考えています。この点についてはいかがお考えですか。

尾高 私は以前から文化庁でなく文化省になって芸術文化に対する予算をもっと増やしてほしいと考えていました。日本が文化国家になるような方向にもっていきたいです。震災後に被災地にお金や食料だけでなく“心にも栄養”が必要という話をしました。芸術文化が必要だという考えはドイツでは当たり前でも、日本ではまだその認識も薄いのではないかと考えています。オーケストラは資本主義経済から見れば、経営が成り立たないような破格のチケット料金でコンサートを開催していますが、国民の中でそのことを理解している人が少ない。このような点も文化国家でないとと思う一因です。コロナ禍でも景気の悪くない民間企業も多くあります。そういった企業への有効なアタックの方法を考えるためにも、海外に比べて事務局の人員が少ない日本のオーケストラは人員を増やす必要があると思います。

また、世の中の変化を感じ取ってオーケストラもクラシックという枠を自ら取り払っていくべきだと思っています。近年では映画やアニメやゲームの音楽などのオーケストラ・コンサートが盛んですが、その演奏を聴いた若者や子供たちが生のオーケストラの音のすばらしさに気づいています。

それをきっかけに、1%でもクラシック音楽に興味を持つかもしれない。すでにクラシックの枠は広がってきているので、芯になるアンサンブルや音楽体験は忘れないで広

がっていくことが大事です。英国では若い人たちに生の音を聴いてもらうことが大事という意識があります。

日本でも従来型の音楽教室だけでなくこちらから近づいて、クラシックだけでなく日本のいろんな音楽文化に触れてもらうことを考えなくてはならないと思います。また、文化芸術が「心の栄養」として必要なものであることを日本の皆さんにも気付いてほしいと思います。

「人と人のグローバルな繋がり」

——ロシアとウクライナで紛争が起こっていることで、紛争を起こした側であるロシア出身の世界で活躍する人が、自らの立場を明らかにすることを求められる事態となっています。このような事態下で芸術文化の活動をするお立場としてどのようにお考えですか。

尾高 現在、それぞれの政治体制とは別の次元で、世界中で文化的に、また経済的に横のつながり強くなっている時に、このようなことが起きたというのは根が深い歪みが表面化したのだと思います。現代の戦争でも確実に人が亡くなって、美しい街が壊れていきます。今のウクライナの方々の心を思うと非常にづらい気持ちです。

私は、人と人のグローバルなつながりは政治とは関係ないものではないかと考えています。例えば今、ロシアのソリストと演奏することになったら断りたいわけではないし、ロシアの作曲家の作品もこれからも演奏していきたいと思っています。

その人の人格が一番大事ですし、他国ですがその国に属している人々の考えと政府の考えが異なっているのは明らかだと感じる体験をしたことがありました。安全は確保しなければいけません…

* * * * *

マエストロとの話に出てきた、朝から晩まで多方面の活動で忙しいロンドン交響楽団のトランペット奏者の「タフでなければロンドン交響楽団ではやっていけない。でもそのどれもが楽しい。」という話が心に残り、そんな活動が出来る世界を大切にしないではいけなくて強く感じた。

(桑原)

子どもたちに オーケストラを♪

～学校公演の現場より～

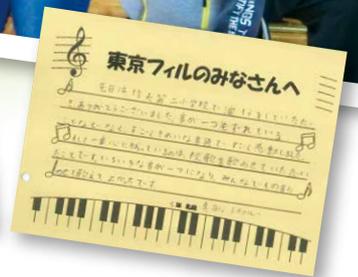
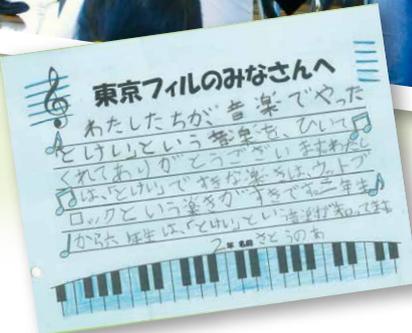
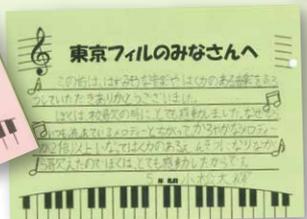


コロナ禍では子どもたちにオーケストラ体験を届けることも極めて困難となり、中止が相次いでいます。そんな中、なんとか安全に開催しようと、楽員・スタッフの健康管理及び検査、公演回数を増やして1度に参加する生徒の人数を減らしたり、オーケストラの編成を小さくしたり、発声がなくリコーダーや鍵盤ハーモニカも使わない体験プロ

グラムへ、など様々な工夫を重ねてきました。先生方のご苦労も並大抵のものではない日々が続く中、オーケストラが響いた体育館に掛け替えのない時間が流れました！オーケストラが頂いた、きらきらとした沢山の元気を皆さまにもお届けします。

東京フィルハーモニー交響楽団

白河市立信夫第二小学校



富士山静岡交響楽団

南足柄市立南足柄小学校



東京フィルハーモニー交響楽団の事務局大谷絵梨奈さんは学校公演を担当して約10年、150校を超える学校を訪れています。「各地、各学校にさまざまな思い出があります。特に、子どもたちが体育館に入場してくる瞬間を見るのが好きです。いつもの体育館がコンサートホールに様変わりしているを見た瞬間、目と口を大きく開けて驚き、ワクワクしながら席につくのが毎回かわいいと思います。間近で演奏

者の息遣いや音の振動を感じることができるのは、体育館ならではの良いところだなと感じます。ワークショップでは、演奏者が楽器と出会ってプロになるまでのエピソードを話したりする機会もあり、「好きなことを見つけたり、目標に向かって努力や挑戦をすることは大事だよ!」、伝えることも大切にしています。」
「コロナ禍となり、学校公演に何うと子どもたち以上に先生方がとても喜んでくださっていることに気づきました。たくさんの行事が中止や延期となる中、「東京フィルを聴けるのを1年間楽しみに待っていました!」と言われることも多く、私たちもいつも以上に気合が入ります。」



「文化芸術による子供育成総合事業」などの文化庁主催事業では、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保し、優れた文化芸術の創造に繋げることを目的とした事業を継続して行なってい

ます。全国各地の学校でオーケストラやオペラ、バレエ、伝統芸能、演劇など様々な団体が子どもたちへ本物の芸術体験を届けています。

英国オーケストラ連盟 年次総会から

沖汐 明日香 (セントラル愛知交響楽団 演奏事業マネージャー)



総会会場となったグラスゴーロイヤルコンサートホール。ホールの公式サイトより。

中心テーマは EDI の導入

英国オーケストラ連盟(ABO)による年次総会が2月9日～11日グラスゴーで開催された。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン上での開催に限られていたが、今年はオンラインと対面のハイブリッド形式で行われ、主に英国内のオーケストラ団体(58)や音楽事務所(7)、会場(7)、楽譜出版社(2)、BBC等メディア(5)、ブリティッシュ・カウンシルやアーツ・カウンシル・イングランドなど政府関係機関(7)、その他団体も含め415名が参加した(括弧内は団体数)。

英国政府は昨年7月19日に全ての感染対策法を撤廃し、イベント会場への入場制限も解除している。オーケストラが収容定員を100%にして再稼働できるようになったのは2020年3月以来だった。そんな中、ABOが今回の総会で重点的に取り上げたテーマが、平等性、多様性と社会包摂(通称EDI、Equity, Diversity, and Inclusion)である。

今やグローバルスローガンとなりつつあるEDI。オーケストラを含むクリエイティブ産業もEDIを柱に活動を展開しなければ社会の理解を得られにくい時代に突入しており、既に昨年の時点でABOや米国オーケストラ連盟(League of American Orchestras)が各自主催の年次総会でその重要性を発信していた。英国のオーケストラも新たな時代の聴衆獲得に苦慮しているが、その解決の糸口をEDIに見出そうとしている。

警鐘

まずコロナ禍によって改めて浮き彫りになったのが、「世間曰く、クラシック音楽は上流階級者のためにある」だった。この影響がいずれ来場者数の回復伸び悩みに現れるとABOは警鐘を鳴らしていた。

「クラシック音楽は『制度化/組織化された』文化である」とヨーク大学教授のアンナ・ブル氏が総会で発言した。19世紀に音楽大学が上流・中流階級者の手によって次々と建設され、ブルジョア階級中心の「音楽組織」

が各地で作られた一方で、組織の質と教育水準を維持するために労働者階級の人々は追いやられた。大学へ通う、コンサートへ行くためには経済的・時間的余裕に恵まれた中流階級以上でなければならないという風潮があり、現代もそれが残っている。

英国のオーケストラは自分たちの団体にEDIを取り入れようと向き合い始めている。

英国政府外公共機関のSocial Mobility Commission(通称SMC)が作成した社会経済的多様性と社会包摂実現のためのツールキット:クリエイティブ産業編によると、舞台芸術業界はクリエイティブ産業のなかでもEDIの浸透が圧倒的に低い。社会的流動性(social mobility)とは、親と子の社会的地位を比較するもので、関連性が低い場合は高社会的流動性となり、子の社会的地位は親のそれによって左右されないということを立証する。

反対に関連性が高い場合は低社会的流動性と判断される。SMC曰く、クリエイティブ産業は後者の代表例で、従事者の52%が高い社会経済的バックグラウンドを持っている。英国の全労働者人口のうち高い社会経済的バックグラウンドを持っている人々の割合は37%なので、クリエイティブ産業の人口に大きな偏りが生じている。舞台芸術の場合は従事者の57%が役職や専門職に携わる親を持ち、労働者階級の出身者はわずか

23%。これらの統計はSMCのパウラ・ケンプ氏が総会で提示した先程のツールキットに示されている。「幅広い人材がオーケストラ団体への入社を検討できるように就職経路を複数作り出すこと。また、雇用者自らが有能な人材を発掘するためのアウトリーチを行うこともEDIを取り入れるための一つの手段である」とケンプ氏が述べた。



総会(対面形式)の様子。ABOの公式Twitterより。

クラシック音楽を超えた交流

ブル氏は「クラシック音楽を超えた別ジャンルの人々との交流を大事にして欲しい」とオーケストラにEDIを取り入れる解決策として発言した。音楽そのものや業界についての知識が無い人も積極的に雇用し、彼らが安心して活躍できる環境を作ること。低所得世帯出身の応募者に対しオーディションや面接時の必要経費を補助すること。大学機関と提携し、学生の業界に対する知識理解を深め、新卒者の就職に繋げるなど。専門的観点から幾つか提案がなされた。

年次総会スケジュール

テーマ: 再起

2022年2月10日(木)

- 10:00 クラシック音楽から社会階級を無くす
- 11:45 社会包摂を回復させること
- 13:45 ジェンダーに関する議題
- 15:15 レジリエンスを高める
- 16:30 音楽的实践による障害者との共生

2022年2月11日(金)

- 10:00 英国芸術関係団体の回復状況
- 11:45 BBC英国放送協会によるセッション
- 14:00 世界のオーケストラの現在
- 15:30 エクセレンスについて話そう
- 16:00 閉会



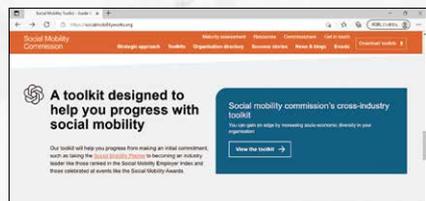
総会のオンライン開催の告知



©Craig Swindells

今年 BBC スコティッシュ交響楽団 (BBCSSO)、ロイヤル・スコティッシュ管弦楽団 (RSNO) の 2 団体がホストオーケストラとして活躍。ロイヤル・スコティッシュ管弦楽団の公式 Twitter より。

先程の SMC のツールキットも社内の EDI 促進に初めて取り組む経営者にとって大変役立つ内容になっている。クリエイティブ産業の特徴を考慮した内容になっており、EDI を達成するための具体的手順と事例が細かく記載されている。経営者や従業員、また業界への就職を検討している人にも活用しやすいものとして提供されている。



SMC が提供するツールキットのダウンロードページ。ツールキット (toolkit) とは参考書またはマニュアルのようなもの。

筆者がこの業界へ新卒就職して 3 年経つが、年齢層や男女比の偏りに以前から疑問を持っていた。特に感じているのは新人材が入りにくい職場環境であること。小規模な運営体制を持つ日本のオーケストラは募集ポジションが限られている上、新入社員の研修・バックアップをする人手と時間が圧倒的に不足している。業界未経験者でも己の知識と経験だけを糧に手探りで職務を遂行しなければならぬ場面に何度も遭遇する。

このような状況下で運営体制を見直すことは相当な努力を要するが、オーケストラ内部の意識改革が必要なのは確かだ。

世間がオーケストラを偏りのある組織だと認識してしまっているのであれば、団の EDI を推進しない限り、今後支持を得られにくいのではと感じている。何より、多種多様な人々が共に業界を作る土台と環境ができてこそ初めて聴衆に向き合えるのだ。

バーミンガム市交響楽団 (CBSO) マーケティング&コミュニケーションズディレクターのガレス・ビーディー氏にコンタクトを取ったところ、CBSO では EDI action plan というものを作り、経営戦略に取り入れる動きを既に開始していると回答があった。

欧米と比較すると日本のオーケストラは経営資源が非常に限られており、彼らと同じ手法を使って解決をしようとするには無理があるだろう。日本には日本のやり方があり、全国のオーケストラがアイデアを出し合い、業界に造詣のある専門家らの意見を聞き、地道にデータ収集と解決策を構築していくしかない。

各オーケストラが団自身の EDI について知り、考えることができれば、まずは大きな一歩だ。今回の総会では残念ながらオーケストラ関係者自身の言葉を聞く機会が少なかったが、今後機会があれば意見交換をしてオーケストラが目指す EDI を模索していきたいと思う。

沖汐 明日香 (おきしお あすか)

公益社団法人セントラル愛知交響楽団
演奏事業マネージャー (2018 年 10 月～)

1996 年生まれ。2010 年に渡英しマンチェスター近郊の現地校で中学・高校時代を過ごす。2018 年にバーミンガム大学音楽学部音楽学科 (BMus) を Class I で卒業し帰国。在学中にバーミンガム現代音楽グループ、ホルスト生家博物館、第 74 回チェルトナム音楽祭にてボランティア活動を行った。同年 10 月にセントラル愛知交響楽団に入団。学校公演を含む公演制作を行っている。

リレーエッセイ

New 今号よりオケ連の黎明期をはじめ、創設にご尽力頂いた方々のエッセイをお届けします。

日本・アジア、世界のオーケストラとの絆を紡ぐ



日本オーケストラ連盟
初代常務理事・事務局長
岡山 尚幹

1994 年、オケ連はまだ任意団体で、社団化の手続きがまず必要だった。そこで最初に知り合った文化庁の当時の担当者が、連盟組織の必要性をわかち合ってくれて、親身に応援してくれたことが、今振り返ってみると、オーケストラが日本の音楽文化の一旦を担う有様を探求する出発点となつたのではないかと思う。

加盟 18 楽団 (設立時) の状況が分かってくると、日本におけるオーケストラの存在基盤はまだ脆弱なところが多く、欧米にあるような社会全体におけるオーケストラの認知度を確立したいという気持ちを強く持った。

そこで、アメリカやカナダ、英国のオーケストラ連盟が中心に活動していた世界オーケストラ連盟の集まりに積極的に参加し、オーケストラの社会的認知を高めるための事業、マーケティングやワークショップ、シンポジウムの開催など、日本のオーケストラ界では取り入れていなかったことを多く始めた。

新しい形のコンサート開催にも取り組み、1996 年文化庁主催「芸術祭祝典 国際音楽の日記念オールジャパン・シンフォニー・コンサート」では、全国の加盟楽団より楽員が集結したオーケストラを編成、さらに 1997 年には東京国際フォーラムの開館記念事業として「アジア・フィルハーモニー管弦楽団」を編成、アジアにオーケストラが存在する

のことも分からなかった当時に 7 か国から 33 名のオーケストラ・プレイヤーを招聘し、東京とソウルでコンサートを制作した。それに引き続きアジア・オーケストラ連盟を発足させ文化庁の事業として毎年「アジア オーケストラ ウィーク」を制作することになった。

この 30 年で日本だけでなくアジアのオーケストラの演奏レベルは格段に向上した。これからはオーケストラの力を社会に還元し、音楽を分かち合い、国際平和に貢献してほしい。

プロフィール 岡山 尚幹 (おかやま なおもと)

日本オーケストラ連盟
初代常務理事・事務局長 (1994 年～2006 年)
1929 年東京生まれ。早稲田大学卒業。文化放送を経てフジテレビに勤務。長年にわたり音楽番組の制作を担当する。ニューヨーク支局長、パリ支局長勤務の後、産経リビング新聞顧問等を務め、1994 年から 2006 年まで日本オーケストラ連盟初代常務理事・事務局長として現在の礎を築いた。

コロナ禍の逆境で プロオーケストラの存在意義

～道民と札幌交響楽団の連帯の復活に期待～

山本 哲朗 (北海道新聞社文化部 編集委員)

北海道には「札幌(サッキョウ)」の愛称で親しまれる地域唯一のプロオーケストラ、公益財団法人札幌交響楽団がある。1961年7月に群馬、京都に続く3番目の地方オケとして発足。新型コロナウイルス感染が収まらぬ中、2021年に創立60周年の「還暦」を迎えた。コロナ禍で公演の中止・延期が相次ぐなど厳しい状況に直面したが、試練が道民と楽団に連帯の橋を架け、音楽の力とプロオケの意義を考えるきっかけとなった。(敬称略、会計数字は見込み)

カーテンコールがやまず、声に出さない「歓喜」の思いが札幌コンサートホール・Kitaraを満たした。2021年12月11、12の両日、札幌が主催公演「札幌の第9」を3年ぶりに、ホームグラウンド、Kitaraで開いた時のことだ。

札幌と気心の知れた友情客演指揮者広上淳一の登壇で12日・日曜のマチネーは、コロナ禍以後、50%の収容制限を解除した札幌の通常販売で初めて「完売」。11日も堅調な入りで札幌ファンのSNSに「ありがとう。いつもの第9」と日常が戻りつつあることへ感謝の声が上がった。

コロナ禍で多くの障害に直面した札幌。外国人入国の原則禁止で、ファン待望の指揮者やソリストの多くが登場できなかった。2020年8月の演奏会再開から2022年2月の東京公演まで外国人が出る演奏会は15回企画されたうち14回が代役に。音楽家は文化庁が楽団などの申請を受けて法務省や外務省、厚生労働省と協議する。許可されれば入国、隔離する段取りだが、間に合わないことが多く、関係者はやきもき。「ここに来られないシュトイデがかわいそう。本当にコロナのパカヤロー」。2021

年6月の第6回新・定期。「弾き振り」を予定したウィーン・フィルの第1コンサートマスター、folkハルト・シュトイデの代役、名誉音楽監督尾高忠明が壇上で訴えた。

道内は「緊急事態宣言」が3度発令されたが、その間、クラシック公演は主催者や施設の判断で開催可否が分かれた。宣言下でも札幌は「特定措置区域」となり「上限5000人かつ収容率50%以内」なら感染防止策を徹底して演奏会を開ける。しかし、公的施設は原則休館したため、「定員50%以内」で開く公演がある一方、公的施設休館に合わせて中止・延期する公演もあった。

札幌市有施設のKitaraでは2021年9月11、12の両日、札幌創立60周年記念定期演奏会にスイス人の首席指揮者マティアス・バーメルトが1年7カ月ぶりに来日して登場。両日も50%制限下で完売、各1000人が「交響曲の不朽の名作」(バーメルト)のブルックナー第7番など「還暦」オケの円熟の響きを楽しんだ。一方、Kitaraが自主事業として9月18日、小ホールで予定した、道内に拠点を置く世界的バイオリニスト安永徹らの室内楽公演を延期した。

Kitaraは「市施設であり休館し感染防止を優先した」。一方、公的施設であっても延期が難しい事業は例外となるため、札幌は「周年の節目。バーメルトもやっと来日したので延期は難しい」と定期を開いた。道内唯一のプロオケとして「音楽を届ける役割」も掲げた。検温、消毒など感染防止策を徹底、開催した公演は多くの観客を癒やした。高齢化などでファン減少に直面していたクラシック音楽が再評価された。



▲3年ぶりにホームグラウンドのKitaraで開かれた「札幌の第9」(21年12月) 写真提供：札幌交響楽団

コロナ禍の札幌は、2020年度だけで75公演を中止・延期、損失は年間収入の3割、2億7000万円に達した。札幌自ら支援金を集めるクラウドファンディング(CF)で2667万円、それ以外の一般寄付で3956万円と独自に約7300万円を集めた。俳優大泉洋らが所属する札幌の芸能事務所クリエイティブオフィスキューも札幌支援のCFを展開、2000万円を寄せた。「札幌に元気がないと道民も元気がない。同じエンターテインメントとして支え合い北海道を盛り上げたい」と同社。

2021年度予算案も中止や延期で2億340万円の赤字となるが、2020年度決算が寄付金や国の様々な支援策などで2億580万円の黒字となり、これを繰り越して赤字を埋める会計処理が国に承認され、コロナ禍を乗り切れるという。多賀登事務所長は「札幌が道民に支えられていることを実感した」と喜びをかみしめる。

札幌を愛した世界的な作曲家武満徹は生前、「(道内)唯一のシンフォニー・オーケストラだという、人びとの誇りによって支えられた、その得難い連帯感が、札幌の表情を生き活きとしたものになっている」と書いた。道民と札幌の連帯の復活を期待したい。

令和4年度文化庁予算

昨年の12月24日、政府は令和3年度の予算を閣議決定し、その後戦後2番目の速さで2月22日に衆議院を通過、年度内の成立が確実にした。文化庁予算は令和3年度予算1,075億円と比べて僅か0.1%増の1,076億円となった。一方コロナ対策としての令和3年度補正予算には905億円が決定している。通常予算でオーケストラの活動に係る主な内容は以下の通り。

1. 「舞台芸術創造活性化事業」 3,338百万円

来年度は今年度と同額の3,338百万円。この予算は我が国芸術団体の水準の向上と、より多くの国民に対する優れた舞台芸術機会の提供を図るためのものとして、オーケストラの定期演奏会を中心とする、芸術的価値の高い演奏会に助成しているもの。芸術団体であるオーケストラにとっては極めて意味のある重要な予算であることは変わらない。一方、国からのもう一つの大きな支援である「芸術文化振興基金」からの助成が年々減額される方向にある中、またオーケストラなど

芸術団体に求められるものが多様化していく中で、現状維持の予算はある意味では減額になっているとも考えられる。

2. 「文化芸術による子供育成 推進事業」5,545百万円

多少の内容の組み換えもあり、新規事業扱いになっているため単純な比較はできないが、内容的にはほぼ今年度と同様と考えられる。(今年度の「文化芸術による子供育成総合事業」は5,507百万円)

来年度の巡回公演目標は合同開催事業も含め1,950公演。今年度は巡回公演目標は2,040公演。オーケストラ全体では近年、中規模あるいは小規模の公演が増加している。

限られた予算で、多くの公演を行うことを考えれば有効と考えられる。また地方における少子化の影響などにより、学校の規模が小さくなっていることも影響していると考えられる。

3. 「戦略的芸術文化創造推進事業」 502百万円

今年度の585百万円から若干の減額になっているが、これは一部が国立施設支援

でまかなわれるとのこと。令和3年度はオペラ、バレエ団がこの助成を利用している。オーケストラでは読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団。

4. 「障害者による文化芸術活動 推進事業」391百万円

今年度に対して約15百万円の増額。共生社会の実現のために障害者による文化芸術活動を支援するもの。劇団、障害者施設、劇場関係の団体がこの助成を活用しているが、オーケストラでは新日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団がこの助成を活用している。

5. 「国際交流芸術支援事業」 476百万円

プロフェッショナルな芸術団体が行う、海外公演、その他海外からの招聘を伴うフェスティバルなどを対象としたもの。この2年間新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用が少なかったものと考えられるが、来年度からはオーケストラの海外公演も含めぜひ活用できることを期待する予算である。

2022年度アフィニス文化財団の オーケストラ助成内容が決定

公益財団法人アフィニス文化財団(理事長 涌井洋治)は日本の音楽文化の発展を願い「アフィニス オーケストラ助成」として、日本国内のプロフェッショナル・オーケストラの主催による演奏会に支援している。この度2022年度の助成内容が発表された。

「音楽の担い手としてのプロ・オーケストラが主催するわが国ならびに各楽団の活動の重点を置いている地域にとって意義ある企画」への助成である「アフィニス・エンブレム」には大阪交響楽団(指揮:柴田真郁)によるドヴォルザークの歌劇「ルサルカ」(演奏会形式)、日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:A.ラザレフ)によるラフマニノフの歌劇「アレコ」、九州交響楽団(指揮:小泉和裕)によるマーラーの交響曲第2番「復活」をはじめとする11団体が選ばれた。合計助成金額3,100万円。また、「楽団としての成長、発展を目指して企画される意欲的な企画」への助成である「アフィニス・エチケット」にはオーケストラ・アンサンブル金沢(指揮:沖澤のどか)による細川俊夫のフルート協奏曲(共同委

嘱・日本初演)、新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:井上道義)による指揮者自作のミュージカル・オペラ「A Way from Surrender ~ 降福からの道~」をはじめとする15団体20プログラムが選ばれた。こちらの合計助成金額は1,000万円。

第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞 にチェリストの笹沼 樹さん、指揮者の 原田慶太楼さん

第20回(2021年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞のチェロ部門の受賞者に笹沼 樹さん、指揮部門に原田慶太楼さんが選ばれた。賞金は各500万円。本賞は故齋藤秀雄に因んで、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者に授与される。笹沼 樹さんは1994年東京生まれ。桐朋学園大学ソリストディプロマコースを修了するとともに学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科を卒業。カルテット・アマビレのメンバー。原田慶太楼さんは1985年東京生まれ、インターロックン芸術高校音楽科、その後セントペテルブルクで学び、21歳の時にモスクワ交響楽団を指揮しデビュー。その後

多くの賞を受賞し、現在はサヴァンナ・フィルハーモニック(アメリカ・ジョージア州)の音楽&芸術監督。国内では東京交響楽団正指揮者。

<第69回尾高賞に西村 朗さん、 岸野末利加さん>

NHK交響楽団は第69回尾高賞に、西村 朗さん作曲の「華開世界~オーケストラのための(2020)」と岸野末利加さんの「チェロとオーケストラのための What the Thunder Said/雷神の言葉(2020)」の2作品が受賞したことを発表した。西村さんは6回目の受賞、岸野さんは初受賞。贈呈式と受賞作品の演奏は7月1日(金)東京オペラシティコンサートホールで開催される。



西村 朗さん

岸野末利加さん

コンサート津々浦々

加盟オーケストラの2022年2月時点での情報です。
今後の状況により変更を余儀なくされる場合もございますので、
コンサート実施の最新情報はそれぞれのオーケストラのホームページ等
ご確認くださいませようお願いします。



■ 正会員 ■ 準会員

札幌交響楽団

問合せ 011-520-1771

第644回定期演奏会～友情指揮者&新コンサートマスター就任記念～

4月23日(土) 17時 / 24日(日) 13時【会場:札幌コンサートホール Kitara】

指揮: 広上淳一(友情指揮者) ピアノ: デビュー・ランキ

【曲目】 武満徹 群島S. ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番 R. シュトラウス 交響詩「英雄の生涯」
(コンサートマスター: 会田莉凡)

1回券 = SS7,000円 S6,000円 A5,000円 B4,500円 C3,500円
* U25割(1997年以降生まれ) B,C 1,500円 当日販売限定スマイル席 2,000円
定期会員券 = SS42,000円 S36,000円 A30,000円 B27,000円 C21,000円 U25割 9,000円



札幌名曲コンサート「ようこそマエストロ川瀬！」～正指揮者就任記念～

5月14日(土) 14時【会場:札幌コンサートホール Kitara】

指揮: 川瀬賢太郎(正指揮者) ホルン: ラドヴァン・ヴラトコヴィチ

【曲目】 ラヴェル 「マ・メール・ロワ」組曲 プロコフィエフ 「ピーターと狼」(日本語ナレーション: 駒ヶ嶺ゆかり)
R. シュトラウス ホルン協奏曲第1番 ラヴェル ボレロ

1回券 = SS5,000円 S4,000円 A3,000円 * U25割(1997年以降生まれ) A1200円
4回通し券 = SS16,000円 S12,800円 A9,600円 U25割 4,000円

詳細は、公式ホームページをご覧ください <https://www.sso.or.jp>

札幌交響楽団 / 仙台フィルハーモニー管弦楽団 / 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 022-225-3934

定期演奏会 会場:日立システムズホール仙台・コンサートホール

金曜日 各日19時開演
土曜日 各日15時開演

第354回

4月15日(金) 4月16日(土)

指揮: 角田鋼亮 サクソフォン: 上野耕平
イベール: アルトサクソフォンと11の楽器のための
室内小協奏曲

トマジ: アルトサクソフォンのための「バラード」
ムソルグスキー/ラヴェル編: 組曲「展覧会の絵」 ほか



第355回

5月6日(金) 5月7日(土)

指揮: 飯守泰次郎
ピアノ: 菊池洋子
ブラームス: ピアノ協奏曲第1番
ブラームス: 交響曲第4番



第356回

7月15日(金) 7月16日(土)

指揮: 井上道義 イングリッシュホルン: 木立 至*
トランペット: 浦田誠真*
コーブランド: クワイエット・シティ*
コーブランド: パレエ組曲「ビリー・ザ・キッド」
グローフェ: 組曲「グランド・キャニオン」



【全席指定】 S席: ¥5,100 S席ユース: ¥2,000 A席: ¥4,600 A席ユース: ¥1,500 Z席: ¥2,000 ※ユース: 演奏会当日25歳未満の方が対象

お申込み・お問合せ: 仙台フィルサービス 022-225-3934 <https://www.sendaiphil.jp/>

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 03-3766-0876

チケット
5月14日
発売予定

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 第41回定期演奏会
ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 作品73「皇帝」
交響曲第3番変ホ長調 作品55「英雄」

指揮 松岡究
ピアノ/独奏
小林亜矢乃

2022年7月15日(金) 18:30開場 19:00開演

大田区民プラザ
大ホール

S席 5,000円/指定席 A席 4,000円/指定席 B席 3,000円/自由席

お問い合わせ ユニフィル事務局 Tel. 03-3766-0876 Mail: info@uniphil.gr.jp www.uniphil.gr.jp/ticket.html

©michikoyamamoto

定期演奏会 [会場] 山形テルサ [開演] 土曜19:00 / 日曜15:00
[チケット料金] A席:4,800円 B席:4,300円 学生(B席):2,600円 Bペア:7,400円

第300回 4月16日(土) / 17日(日)

指揮: 村川千秋、阪 哲朗
独唱: 林 正子(元帥夫人)、
小林由佳(オクタヴィアン)、
石橋栄実(ゾフィー)

シベリウス: 交響詩「フィンランディア」作品 26
シベリウス: カレリア組曲 作品 11
R. シュトラウス: 楽劇「ばらの騎士」作品 59 (抜粋)



第301回 6月18日(土) / 19日(日)

指揮: 阪 哲朗
ヴァイオリン: 神尾真由子

本島由美子:
山響創立 50 周年記念委嘱作品 (世界初演)
ラロ: スペイン交響曲 作品 21
バルトーク: 管弦楽のための協奏曲 BB 123



第302回 7月9日(土) / 10日(日)

指揮・ヴァイオリン:
ドミトリー・シトコヴェツキー

シュマン: 歌劇「ゲノヴェーヴァ」Op.81 序曲
オネゲル: 交響詩「夏の牧歌」
ドヴォルザーク: チェコ組曲 作品 39
ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品 77



(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL: 023-616-6607 (月～金 ※祝日を除く 10:00～17:00)

山響50th Anniversary
“Soloistic”



山響公式 HP



山響 WEB チケット

群馬交響楽団

2022-23 定期演奏会 前期シーズン

定期演奏会チケット 各回共通 1 回券 (全席指定)
※東毛定期演奏会は別料金
SS 席:6,500円 S 席:5,500円 A 席:5,000円
B 席:4,000円 C 席:3,000円



GTシンフォニック・コンサートVol.2
映画音楽名作選 1
～ジョン・ウィリアムズ コンサート～

6月29日(水)19:00開演

高崎芸術劇場 大劇場
指揮/原田慶太楼 サクソフォン/須川展也*
《スターマン》マーチ
《ジェラシックパーク》から テーマ
《キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン》から
エスカペイド*
《スター・ウォーズ》組曲
チケット (全席指定)
S 席 5,000円 U-25 S 席 2,500円
A 席 4,000円 B 席 2,000円
B 席 3,000円 A 席 1,500円



群馬交響楽団 HP

第577回 4月23日(土) 16:00

高崎芸術劇場 大劇場
指揮/秋山和慶 ピアノ/三浦謙司*
シベリウス/交響詩《春の歌》作品 16
グリーグ/ピアノ協奏曲 イ短調 作品 16*
ニールセン/交響曲 第 4 番 作品 29 FS76「不滅」



第578回 5月14日(土) 16:00

高崎芸術劇場 大劇場
指揮/大友直人
チューバ/松下裕幸 (群馬交響楽団チューバ奏者)*
ヴォーン・ウィリアムズ/交響曲 第 5 番 二長調
ヴォーン・ウィリアムズ/バス・チューバ協奏曲 へ短調*
ヴォーン・ウィリアムズ/交響曲 第 9 番 ホ短調



第579回 6月25日(土) 16:00

高崎芸術劇場 大劇場
指揮/ガエタノ・デスピノーサ
ヴァイオリン/南紫音*
シャブリエ/狂詩曲《スペイン》
ラロ/スペイン交響曲 作品 21*
プロコフィエフ/交響曲 第 5 番 変ロ長調 作品 100



第580回 7月23日(土) 16:00

高崎芸術劇場 大劇場
第52回東毛 7月24日(日) 15:00
太田市民会館
指揮/高岡 健 (群馬名誉指揮者)
ピアノ/清水和音*
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第 3 番 二短調 作品 30*
ストラヴィンスキー/バレエ音楽《春の祭典》



各コンサートの詳細・チケットについては群馬HPをご覧ください。 <http://www.gunkyo.com/> 群馬交響楽団事務局 (平日 10:00～18:00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

NHK交響楽団

2021-22 シーズン定期公演 | Spring (2022年4月-6月) | Follow us on | www.nhksa.or.jp

池袋Aプログラム [東京芸術劇場]
18:00
14:00

第1954回 | 4/9(土) 10(日)
指揮: クリストフ・エッシェンバハ
フルート: スタティス・カラパノス
ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
モーツァルト/フルート協奏曲 第1番
ベートーヴェン/交響曲 第7番

第1956回 | 5/14(土) 15(日)
指揮: マレク・ヤノフスキ
ヴァイオリン: アリョーナ・パーエフ
シューマン/ヴァイオリン協奏曲
シューベルト/
交響曲 第8番「ザ・グレート」

第1959回 | 6/11(土) 12(日)
指揮: ステファヌ・ドゥナーヴ
メゾ・ソプラノ: ステファニー・ドゥストラック
ラヴェル/シエラザード
ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲
フロラン・シュミット/バレエ組曲「サロメの悲劇」
ほか

Bプログラム [サントリーホール]
19:00
19:00

サントリーホールの改修工事に伴い、
4月定期公演Bプログラムの開催を
休止します。

第1958回 | 5/25(水) 26(木)
指揮: ファビオ・ルイージ
ピアノ: 小菅 優
ラヴェル/ピアノ協奏曲
リムスキー・コルサコフ/
交響組曲「シエラザード」ほか

第1961回 | 6/22(水) 23(木)
指揮: 鈴木優人
ヴァイオリン: 郷古 廉
ブリテン/ヴァイオリン協奏曲
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」ほか

池袋Cプログラム [東京芸術劇場]
19:30
14:00

第1955回 | 4/15(金) 16(土)
指揮: クリストフ・エッシェンバハ
マーラー/交響曲 第5番

第1957回 | 5/20(金) 21(土)
指揮: ファビオ・ルイージ
ピアノ: アレクサンドル・メルニコフ
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第20番
ベートーヴェン/交響曲 第8番 ほか

第1960回 | 6/17(金) 18(土)
指揮: ステファヌ・ドゥナーヴ
オルガン: オリヴィエ・ラトリー
プーランク/オルガン協奏曲
ガ・シュウイン/バリのアメリカ人 ほか

■全公演「休憩なし&60～80分程度」に ■料金をよりリーズナブルに ■1日目(金曜夜)の開演を19:30に繰り下げ ■「開演前の室内楽」の開催

今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

藝大フィルハーモニア管弦楽団

藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会

武満徹: 弦楽のためのレクイエム
武満徹: ファンタズマ/カントス
リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シエラザード」作品 35

2022. 4/21(木) 19:00 開演
会場: 東京藝術大学奏楽堂

《全席指定》
4,000円
(当日券販売なし)



指揮 山下一史 クラリネット 三界秀実

2022年度 モーニング・コンサート

11:00 開演 東京藝術大学奏楽堂

第1回 5月12日(木) 第5回 6月30日(木)
第2回 6月9日(木) 第6回 7月14日(木)
第3回 6月16日(木) 第7回 7月21日(木)
第4回 6月23日(木) 第8回 7月28日(木)

2022/2023シーズン定期演奏会、チケット好評販売中!

https://www.njp.or.jp

すみだクラシックへの扉 第7回

第641回定期演奏会

すみだクラシックへの扉 第8回

2022/5/13(金)・14(土) 両日 14:00

すみだトリフォニーホール

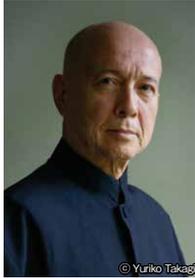
指揮 = 井上道義 和太鼓 = 林 英哲
オルガン = 石丸由佳

サン＝サーンス/糸杉と月桂樹
op. 156 より「月桂樹」

新実徳英/
和太鼓とオルガンと
オーケストラのための
「風神・雷神」

ファリャ/バレエ音楽
「三角帽子」第1組曲、
第2組曲

ラヴェル/ボレロ



© Yuriko Takagi

トリフォニーホール・シリーズ

2022/5/21(土) 14:00 すみだトリフォニーホール

サントリーホール・シリーズ

2022/5/23(月) 19:00 サントリーホール

指揮 = 佐渡 裕

クラリネット=マルコス・ベレス・ミランダ

ピアノ=高木竜馬

ドラムス=高橋信之介

R. シュトラウス/
交響詩「ドン・ファン」

op. 20, TrV 156

バーンスタイン/
前奏曲、フーガとリフス*

ベートーヴェン/
交響曲第7番 イ長調 op. 92



© Peter Rigaud c/o ShotView/Artists

2022/6/17(金)・18(土) 両日 14:00

すみだトリフォニーホール

指揮 = キンボー・イシイ
ヴァイオリン = 周防亮介*

ベートーヴェン:
ヴァイオリン協奏曲
ニ長調 op. 61*

吉松隆:
鳥は静かに・・・op.72

吉松隆:
交響曲第6番
「鳥と天使たち」op. 113



© Peter Rigaud c/o ShotView/Artists

東京交響楽団

問合せ 044-520-1511

第700回 定期演奏会

6月25日(土) 18:00 サントリーホール

指揮=イオン・マリシ

チャイコフスキー: 交響曲 第4番 へ短調

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)

S席¥8,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥4,000 P席¥2,500

東京オペラシティシリーズ 第128回

7月2日(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

指揮&クラリネット=アンドレアス・オッテンザマー

モーツァルト: 交響曲 第35番 ニ長調

メンデルスゾーン: 無言歌集より (オッテンザマー編曲クラリネットと弦楽オーケストラ版)

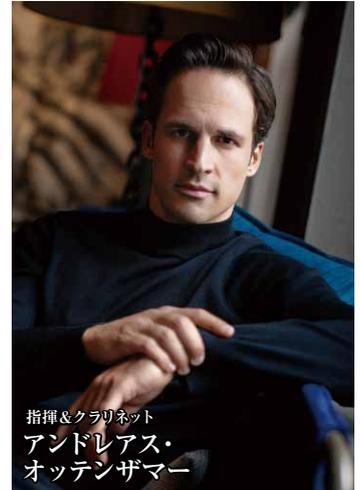
ウェーバー: 「オペロン」序曲

ブラームス/ベリオ編: クラリネット・ソナタ へ短調 (管弦楽版)

S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥4,000 C席¥3,000



指揮 イオン・マリシ © LEVSHIN



指揮&クラリネット
アンドレアス・
オッテンザマー

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 03-5624-4002

スプリングシーズン シーズンセット券・1公演券発売中!

定期演奏会 会場: 東京オペラシティ コンサートホール 平日19時開演 土曜14時開演

第351回 2022年4月22日(金)

【指揮】高関 健(常任指揮者)

三善 見: 交響三章

ブルックナー: 交響曲第4番
変ホ長調「ロマンティック」



第352回 2022年5月12日(木)

【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者)

【ピアノ】角野隼斗

ラヴェル: 組曲「マ・メール・ロワ」

ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調

黛敏郎: シンフォニック・ムード

黛敏郎: BUGAKU



第353回 2022年6月11日(土)

【指揮】飯守泰次郎(桂冠名誉指揮者)

～シューマン交響曲全曲演奏シリーズⅡ～

シューマン: 交響曲第3番

変ホ長調 作品97「ライン」

シューマン: 交響曲第4番

ニ短調 作品120



ティアラこうとう定期演奏会

会場: ティアラこうとう 大ホール

第69回 2022年7月9日(土) 15時開演

【指揮】高関 健(常任指揮者)

【フルート】竹山 愛(首席フルート奏者)

バルトーク: 舞踏組曲

モーツァルト: フルード協奏曲第1番 ト長調 K.313

ブラームス: 交響曲第3番 へ長調 作品90



S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500 (座席指定税込)
U20¥1,000 U30¥1,500 (座席指定不可税込)

チケット料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000 (座席指定税込)
U20¥1,000 (座席指定不可税込) U30¥2,000 (座席指定不可税込) プラチナS席¥4,500 プラチナA席¥3,500 (60歳以上税込)

千葉交響楽団

問合せ 043-222-4231

第111回定期演奏会 あふれる瑞々しさ

2022年5月21日(土) 14時開演 習志野文化ホール

ドヴォルザーク/チェロ協奏曲短調

シューベルト/交響曲第9番ハ長調「ザ・グレート」

指揮: 山下一史(音楽監督)

チェロ: 山澤 慧(千葉交響楽団首席チェロ奏者)



指揮 山下一史 © di Ueda



チェロ 山澤 慧 © Ayane Shindo

入場料・全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円

都響スペシャル

2022年4月21日(木) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

第948回定期演奏会 Aシリーズ

2022年4月22日(金) 19:00開演
東京文化会館

指揮/大野和士 ピアノ/藤田真央
ヴァイオリン/矢部達哉 (都響ソロ・コンサートマスター)

シューマン: ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

R. シュトラウス: 交響詩《英雄の生涯》op.40

S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 C席¥5,000 Ex席¥3,500(4/22のみ)
シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、U-25(25歳以下) S席~C席5割引

お問合せ 都響ガイド 0570-056-057 (平日10:00~18:00) <https://www.tmso.or.jp/>



指揮
大野和士
© Herbie Yamaguchi



© Eitichi Ikeda



© T.Toradate

第949回定期演奏会
Cシリーズ

2022年4月28日(木) 14:00開演
東京芸術劇場 コンサートホール

指揮/大野和士 オーボエ/広田智之 (都響首席奏者)

R. シュトラウス:

オーボエ協奏曲 ニ長調

マーラー:

交響曲第5番 嬰ハ短調

S席¥7,000 A席¥6,000

B席¥5,000 C席¥4,000

Ex席¥2,700

シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、
U-25(25歳以下) S席~C席5割引



© Ayane Shindo

パシフィック フィルハーモニア東京 (旧: 東京ニューシティ管弦楽団)

第147回定期演奏会

4月8日(金)
開場18:00 開演19:00
東京芸術劇場 コンサートホール
指揮:鈴木秀美
ハイドン/
交響曲第103番 変ホ長調「太鼓連打」
ベートーヴェン/
交響曲第3番 変ホ長調作品55「英雄」



© K.Miura

第148回定期演奏会

<音楽監督就任記念>

5月11日(水)
開場18:00 開演19:00
サントリーホール
指揮:飯森範親
ピアノ:牛牛
エレキギター:
マーティ・フリードマン
尺八:藤原道山
エレキヴァイオリン:
高木凜々子
チャイコフスキー/
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調作品23
ショスタコーヴィチ/交響曲第1番 短調 作品10
メイソン・ペイツ/マザーシップ (本邦初演)



©山岸伸



© Paul Tsang

第149回定期演奏会

6月19日(日)
開場13:00 開演14:00
東京芸術劇場 コンサートホール
指揮:ステファン・アズベリー
チェロ:横坂 源
オスバルド・ゴリホフ/
弦楽アンサンブルのための「ラスト・ラウンド」
オスバルド・ゴリホフ/チェロ協奏曲「アズール」
コーブランド/交響曲第3番



© Eric Richmond



© Takashi Okamoto

第5回練馬定期演奏会

6月4日(土)
開場13:15 開演14:00
練馬文化センター 大ホール
指揮:飯森範親 ピアノ:牛田智大
モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲
ショパン/ピアノ協奏曲第1番 短調作品11
エルガー/行進曲「威風堂々」第1番 二長調
ビゼー/「アルルの女」第2組曲
ラヴェル/ボレロ



©山岸伸



© Ariga Terasawa

《東京芸術劇場》SS席:8,500円 S席:7,000円 A席:5,500円 B席:4,500円 C席:3,500円 《サントリーホール》SS席:9,500円 S席:8,000円 A席:6,500円 B席:5,000円 C席:4,000円 《練馬定期》SS席:8,000円 S席:6,000円 A席:4,500円 B席:3,500円 C席:2,500円

チケットオフィス 03-5726-9008(平日10:00~18:00) WEBチケット <https://www.ppt.or.jp>

東京フィルハーモニー交響楽団

2022シーズン定期演奏会

チケット料金(税込・全席指定) SS席¥15,000 S席¥10,000 A席¥8,500 B席¥7,000 C席¥5,500

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (平日10~18時・土日祝休) 東京フィルWEB チケットサービス www.tpo.or.jp/

5月

18日(水) 19:00開演 サントリーホール
20日(金) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
22日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール
フォーレ/組曲「ベレアスとメリザンド」
ラヴェル/「ダフニスとクロエ」第2組曲
ドビュッシー/交響詩「海」(管弦楽のための3つの交響的素描)
ラヴェル/管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」



指揮:
チョン・ミョンフン
(名誉音楽監督) ©上野隆文

6月

8日(水) 19:00開演 サントリーホール
9日(木) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
12日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール
シCHEDリン/カルメン組曲(シCHEDリン生誕90年)
チャイコフスキー/『白鳥の湖』より
(プレトニョフによる特別編集)



指揮:
ミハイル・プレトニョフ
(特別客演指揮者) ©上野隆文

7月

7日(木) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
10日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール
12日(火) 19:00開演 サントリーホール
指揮:出口大地(2021年ハチャトゥリアン国際コンクール第1位、クセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位入賞)
ヴァイオリン:木嶋真優*
ハチャトゥリアン/バレエ音楽「ガイース」より
/ヴァイオリン協奏曲*
/交響曲第2番「鐘」



© hiro.pberg



© TANRA

富士山静岡交響楽団 (旧: 静岡交響楽団)

第110回定期演奏会

5月28日(土) 14:00
静岡市清水文化会館マリナート
5月29日(日) 14:00
アクトシティ浜松



© Martin Richardson

【指揮】尾高忠明 【チェロ】横坂 源
尾高忠明/オーケストラのための「イマージュ」
ハイドン/チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 Hob.VIIb:1
シベリウス/交響曲 第1番 短調 op.39

第111回定期演奏会

6月25日(土) 14:00
静岡市清水文化会館マリナート
6月26日(日) 14:00
アクトシティ浜松



© Masataka Tomitani

【指揮】広上淳一
【ピアノ】アレクサンダー・ガジエフ
チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
リムスキー=コルサコフ/交響組曲「シェヘラザード」op.35

第112回定期演奏会

7月16日(土) 14:00
静岡市清水文化会館マリナート
7月17日(日) 14:00
三島市民文化会館



© Masahide Sato

【指揮】高間 健(首席指揮者) 【ヴァイオリン】前橋汀子
メンデルスゾーン/序曲「海の静かさと幸せな航海」op.27
ヴァイオリン協奏曲 短調 op.64
エルガー/弦楽のためのセレナード 短調 op.20
創作主題による変奏曲「エニグマ」op.36

【各公演 前売券】 全席指定/A席4,500円 B席3,500円 B席学生1,500円 ※当日500円増(B席学生は除く)

東京定期演奏会 会場:サントリーホール [金曜日] 19:00開演 [土曜日] 14:00開演

第740回 2022年5月27日(金)/28日(土)

指揮: カーチュン・ウォン [首席客演指揮者]
 ピアノ: 務川慧悟* ソプラノ: 三宅理恵**
 伊福部昭:
 ピアノと管絃楽のための《リトミカ・オスティナート》*
 マラー: 交響曲第4番**



チケット 好評発売中 S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

第741回 2022年6月17日(金)/18日(土)

指揮: アレクサンドル・ラザレフ [桂冠指揮者兼芸術顧問]
 ピアノ: 小川典子
 アレコ: ニコライ・エフレモフ
 若いジプシー: 大槻孝志
 ゼムフィーラ: 大隅智佳子
 老人: 大塚博章
 ジプシーの老女: 山下牧子
 合唱: 東京音楽大学
 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第1番
 ラフマニノフ: 歌劇《アレコ》
 (演奏会形式/字幕付)



チケット料金 S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000 Ys¥1,500

第742回 2022年7月8日(金)/9日(土)

指揮: 広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]
 ヴァイオリン: 米元響子
 ブルッフ: スコットランド幻想曲
 ブルックナー: 交響曲第7番 (ハース版)



チケット料金 S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

[お問合せ・お申込み] 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 (平日11時~17時) FAX:03-5378-6161 (24時間) 日本フィルチケット www.japanphil.or.jp

読売日本交響楽団

約6年半ぶりに上岡敏之が読響の指揮台へ。ツェムリンスキー作品を熱いドラマへと昇華させ、チャイコフスキー「悲愴」では高まる激情を露わにする!

ベルクの歌劇「ルル」で称賛された日本を代表する歌姫・森谷真理が「ヴォツェック」で更なる高みを目指す!

第617回定期演奏会

5月24日(火) 19:00開演 サントリーホール

[指揮] 上岡敏之
 [ソプラノ] 森谷真理 他
 ウェーベルン:

6つの小品 作品6 (1928年版)
 ベルク: 歌劇「ヴォツェック」から
 3つの断章
 ツェムリンスキー: 交響詩「人魚姫」



S ¥7,600 A ¥6,600 B ¥5,600 C ¥4,100

[お問合せ・お申し込み] 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時) https://yomikyoo.jp/

ドイツの名手ノイダウアーが読響と初共演! 芸術性の高い演奏で傑作協奏曲の神髄に迫る。

第247回土曜マチネシリーズ

5月28日(土) 14:00開演 東京芸術劇場

第247回日曜マチネシリーズ

5月29日(日) 14:00開演 東京芸術劇場

第32回大阪定期演奏会

6月1日(水) 19:00開演
 フェスティバルホール(大阪)



[指揮] 上岡敏之
 [ヴァイオリン] レナ・ノイダウアー
 メンデルスゾーン: 序曲「ルイ・ブラス」
 メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲
 チャイコフスキー: 交響曲第6番「悲愴」

[東京] S ¥7,600 A ¥5,600 B ¥4,600 C ¥4,100 [大阪] BOX ¥8,700 S ¥6,200 A ¥5,200 B ¥4,200

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 第377回

2022年5月14日(土) 14時開演
 神奈川県民ホール

阪 哲朗 (指揮)
 クレア・フアンチ (ピアノ)
 酒井健治/
 Jupiter Hallucination
 モーツァルト/
 ピアノ協奏曲第25番
 シューベルト/
 交響曲第8番「グレート」



[チケット料金] S6,000円 A4,500円 B3,000円

巡回公演フューチャー・コンサート鎌倉公演

2022年6月5日(日) 14時開演
 鎌倉芸術館

鈴木優人 (指揮)
 久元祐子 (ピアノ)
 モーツァルト/
 歌劇「劇場支配人」序曲
 プーランク/
 ピアノ協奏曲
 ブラームス/
 交響曲第2番



[チケット料金] S5,000円 A3,500円

神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10時~18時) https://www.kanaphil.or.jp

中部フィルハーモニー交響楽団

第80回定期演奏会 NAGOYAシリーズ1

“秋山のベートーヴェン・ツィクルス4”
 2022年5月28日(土) 開演15:00
 三井住友海上しらかわホール

指揮: 秋山和慶
 ベートーヴェン:
 序曲「命名祝日」作品115
 交響曲第4番 変ロ長調 作品60
 交響曲第8番 へ長調 作品93



第81回定期演奏会 NAGOYAシリーズ2

“飯森のドイツ・ロマンティズムへの
 オマージュ〜ドイツ初期ロマン派の抒情1”
 2022年7月17日(日) 開演15:00
 三井住友海上しらかわホール

指揮: 飯森範親 チェロ: 佐藤晴真
 ウェーバー: 歌劇「オイリアンテ」序曲
 シューマン: チェロ協奏曲 イ短調 作品129
 メンデルスゾーン: 交響曲第3番 イ短調「スコットランド」作品56



チケットお取扱い・お問合せ 中部フィルハーモニー交響楽団 Tel 0568-43-4333 https://chubu-phil.com

定期演奏会 会場:三井住友海上しらかわホール

[指定席]プラチナ席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 [U25席]1,000円(座席指定不可・指定の場合は一般価格の半額)

第189回 2022年5月20日(金) 17:45開場/18:45開演

指揮/角田鋼亮(当団常任指揮者) ヴォーン=ウィリアムズ:音楽へのセレナーデ ブルックナー:交響曲第5番(原典版)



© Hikanu Hoshi

第190回 2022年6月18日(土) 13:30開場/14:30開演

指揮/マーク・マスト ヴァイオリン/中村太地 プラムス:ヴァイオリン協奏曲 二長調 シューベルト:交響曲第9番 ハ長調「グレート」



© Ayane Shindo

第191回 2022年7月29日(金) 17:45開場/18:45開演

コンサートマスター/安永徹 ピアノ/市野あゆみ モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番 エルガー:弦楽セレナーデ モーツァルト:交響曲第40番



[主催・お問い合わせ]セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851 http://www.caso.jp/

名古屋フィルハーモニー交響楽団

定期演奏会「シンフォニスト」シリーズ



会場:愛知県芸術劇場コンサートホール 開演:[金] 18:45 [土] 16:00

*各公演25歳以下、65歳以上に割引あり。

2022年5月13日(金)/14日(土)

第501回 <ヴォーン=ウィリアムズ/生誕150年記念>

アンガス・ウェブスター(指揮) 吉井瑞穂(オーボエ)*

- ▼エルガー:序奏とアレグロ
▼モーツァルト:オーボエ協奏曲*
▼ヴォーン=ウィリアムズ:交響曲第5番



© Thom Axon



© Marco Borggreve

2022年6月10日(金)/11日(土)

第502回 <ブルックナー>

アントニ・ヴィット(指揮) 小菅 優、居福健太郎(ピアノ)*

- 窪田健志、ジョエル・ビードリツキー(打楽器/名フィル首席奏者)*
▼バルトーク:2台のピアノと打楽器のための協奏曲*
▼ブルックナー:交響曲第6番 [ノヴァーク版]



© Marco Borggreve



© J. Mularzynski

チケット料金 [第501回] S席:¥6,400 A席:¥5,200 B席:¥4,200 C席:¥3,200 D席:¥2,200

[第502回] S席:¥7,400 A席:¥6,400 B席:¥5,200 C席:¥4,200 D席:¥3,200

お問い合わせ:名フィル・チケットガイド Tel. 052-339-5666 (9:00~17:30/土日祝休) www.nagoya-phil.or.jp

オーケストラ・アンサンブル金沢

定期公演 石川県立音楽堂コンサートホール

[第454~第456回]SS席6,000円 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 スターライト1,000円 [第457回]SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席3,000円 スターライト1,500円 *すべての公演において25歳以下当日券50%オフ(前日より電話予約可・要証明書類)

第454回定期公演

4月22日(金) 19:00 開演

指揮:田中祐子 サクソフォン:上野耕平 ミヨ=パレエ音楽「世界の創造」 イベル/アルト・サクソフォンと管弦楽のための室内協奏曲 藤倉大/Umi(海)(2014/2017) イベル/交響組曲「パリ」



© sajihiyayasu



© S.Ohsugi

第455回定期公演

5月21日(土) 14:00 開演

指揮&ピアノ:アンジェラ・ヒューイット J.S.バッハ/ピアノ協奏曲 第3番 二長調 ピアノ協奏曲 第5番 短調 ピアノ協奏曲 第7番 短調 ピアノ協奏曲 第2番 長調 ピアノ協奏曲 第1番 二短調



© Mai Wolf

第456回定期公演

7月9日(土) 14:00 開演

指揮:ユベール・スターン(OEKプリンシパル・ゲストコンダクター) ピアノ:三浦謙司 フォーレ/劇付随音楽「ペレアスとメリザンド」組曲 ラヴェル/ピアノ協奏曲 下長調 シューマン(マラー編曲)/交響曲 第2番 ハ長調



© N.Ikegami



第457回定期公演

7月15日(金) 19:00 開演

指揮:広上淳一 ヴァイオリン/小林美樹 バッハ(ウェーベルン編曲)/「音楽の捧げもの」より6声のリチュルカーレ ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲 イ短調 ブルックナー(ハボラーク編曲)/弦楽五重奏曲へ長調より アダージョ(弦楽合奏版) リスト(トバーニ編曲)/ハンガリー狂詩曲 第2番 短調



© Masaki Tomitori



© 山吹康男

https://www.oek.jp

京都フィルハーモニー室内合奏団

創立50周年記念 定期公演

チケット代<入場料(前売:税込)>▶定期公演A S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、ユース席(25歳以下)1,000円 ■定期公演B(自由席) 一般2,000円、ユース(25歳以下)1,000円 全ての公演:当日各500円増し

2022年4月9日(土)開演14:00

第243回定期公演A「協奏曲の饗宴」

京都コンサートホール 小ホール バロック、古典派の数々の協奏曲を京フィルメンバーの渾身の演奏でお楽しみください。ケルビーニ/ホルンソナタ 第2番 ネルゲ/トランペット協奏曲委ホ長調 バッハ/ブランデンブルク協奏曲 第5番 二長調 BWV1050 ほか



フルート: 市川あゆみ

2022年5月22日(日)開演 1回目15:00/2回目18:30

第245回定期公演B「バロック音楽の楽しみ」室内楽シリーズ Vol.12

京都文化博物館 別館ホール M.ハイデン/ディヴェルティメント変ホ長調 P.102, MH9 テレマン/ホルン、フルートと通奏低音のための協奏曲 へ長調 TWV 42:F14 ファッシュ/Sonata for Violin, Oboe, Bassoon and Continuo, FaWV N:F4 テレマン/ヴァイオリン、チェロとトランペットのための協奏曲二長調 TWV53: D5 ほか



ホルン: 山本愛沙子

2022年6月11日(日)開演14:00

第246回定期公演A「北の国から」

京都コンサートホール 小ホール 指揮:柳澤寿男 ピアノ:岡田将 グリーグ/ホルベア組曲 ジョスタコーヴィチ/ピアノ協奏曲 第一番 チャイコフスキー/弦楽セレナーデ



指揮: 柳澤寿男

共に響き合う、京響 City of Kyoto Symphony Orchestra

会場：京都コンサートホール・大ホール

発売中！ **第667回定期演奏会** (フライデー・ナイト・スペシャル) がスタート！

4/22(金)から発売！ **第668回定期演奏会**

ついにベールを脱ぐ、オランダの鬼才

1976年京都市の委嘱で作曲された「オーケストラのためのレオス」の45年ぶりの再演

2022年 **5/20(金)** 19:30 開演 **5/21(土)** 14:30 開演

2022年 **6/24(金)** 19:00 開演

指揮：ヤン・ヴィレム・デ・フリーント

指揮：沼尻竜典 独奏：カミーユ・トマ (チェロ)

独奏：上野博昭 (京響首席フルート奏者) 松村衣里 (京響ハープ奏者)

5/20(金) (フライデー・ナイト・スペシャル) (休憩なし・約1時間プログラム)

三善見：オーケストラのためのレオス

モーツァルト：セレナード第12番ハ短調 K.388(384a)

サン・サーンス：チェロ協奏曲第1番イ短調作品33

モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲ハ長調 K.299

フランク：交響曲二短調

5/21(土)

モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲ハ長調 K.299

シューベルト：交響曲第8番ハ長調 D.944「ザ・グレート」



■入場料

5/20(金) 公演 (フライデー・ナイト・スペシャル)
S: 4,000円 A: 3,500円 B: 3,000円
C: 2,000円 P: 1,500円

5/21(土)・6/24(金) 公演
S: 5,500円 A: 5,000円 B: 4,000円
C: 3,000円 P: 2,000円

■チケットご予約

京都コンサートホール・チケットカウンター
TEL (075) 711-3231
24時間オンラインチケット購入
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■京都市交響楽団
オフィシャル・ホームページ



大阪交響楽団

問合せ 072-226-5522

第255回 定期演奏会

会場：ザ・シンフォニーホール

開演：19:00 [18:00 開場]

2022
5.13
(金)

「山下一史 常任指揮者就任記念 “英雄とは”」

指揮 / 山下一史 (常任指揮者 2022年4月就任)

ソプラノ / 石橋 栄実

■ワーグナー ジークフリート牧歌

■R.シュトラウス 4つの最後の歌

■R.シュトラウス 交響詩「英雄の生涯」



山下一史
©ai ueda



石橋 栄実

主催 / 公益社団法人 大阪交響楽団
特別協賛 / 大和ハウス工業株式会社

S席 6,500円 オルガン席 2,000円
A席 5,500円 青少年学生券
B席 4,000円 1回券 1,000円
C席 2,500円 5回券 4,000円

※青少年学生券は楽団のみ取り扱い。当日座席指定。
25歳までの学生のみ有効。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット・問い合わせ

大阪交響楽団チケットセンター

TEL. 072-226-5522 (平日10:00~17:00)

大阪フィルハーモニー交響楽団

問合せ 06-6656-4890

マチネ・シンフォニーVol.27

ソワレ・シンフォニーVol.19

2022年5月10日(火)

午後2時開演

ザ・シンフォニーホール

指揮：井上道義

クラリネット：ダニエル・オッテンザマー

ガーシュウィン/パリのアメリカ人

コーブランド/クラリネット協奏曲

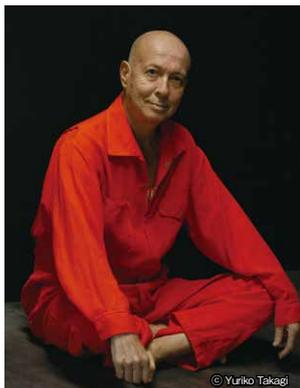
大栗裕/大阪俗謡による幻想曲

伊福部昭/日本組曲より“盆踊”

“演伶” “佞武多”

【料金(税込)】

A席：5,100円 B席：3,100円



© Yuriko Takagi

2022年6月30日(木)

午後7時開演

ザ・シンフォニーホール

指揮：大植英次

ピアノ：小山実稚恵

ベートーヴェン/

ピアノ協奏曲 第5番

変ホ長調 作品73「皇帝」

ベートーヴェン/

交響曲 第7番 イ長調 作品92

【料金(税込)】

A席：5,100円 B席：3,100円



お問合せ：大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

問合せ 06-6336-2001

第60回定期演奏会 2022年6月25日(土) 開演17:00 会場：ザ・カレッジ・オペラハウス

【指揮】新通英洋

ベートーヴェン / 序曲「エグモント」作品84

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19(独奏:長阪 花音)

ベートーヴェン / 交響曲 第7番 イ長調 作品92

チケット発売日 未定 全席自由席 3,000円

*都合により曲目が変更になる場合があります。
*別途、電子チケットの発券手数料2%がかかります。*高校生以下の方は無料ご招待いたします。
*未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。



©奥田豊彦

チケットに関するお問い合わせ先 大阪音楽大学 コンサート・センター 06-6334-2242

第329回定期演奏会 会場：ザ・シンフォニーホール



6月11日(土) 14:00 開演 (13:00 開場)

東洋の神秘…必聴、松村禎三の歴史的傑作

指揮：藤岡 幸夫(関西フィル首席指揮者)
ピアノ：渡邊 康雄

松村 禎三：ピアノ協奏曲第1番
ラフマニノフ：交響曲第3番 イ短調 作品44

※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

6,500円(S) 5,000円(A) 3,500円(B) 2,500円(C)
1,000円(学生/25歳以下)

※チケット発売日 調整中

協賛：小野薬品工業株式会社 特別協賛：ダイキン工業株式会社



日本センチュリー交響楽団

問合せ 06-6848-3311

第263回定期演奏会

飯森のブルックナーと念願のラーンキ「皇帝」

2022年4月21日(木)
19:00開演 18:00開場
ザ・シンフォニーホール

指揮：飯森範親
ピアノ：デジャー・ラーンキ
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番
変ホ長調 作品73「皇帝」

ブルックナー：
交響曲 第1番 小短調 WAB101
(1866年リント稿 ノヴァーク版)



第264回定期演奏会

英国の豊かな自然と伝統 若き才能との出逢い

2022年5月14日(土)
14:00開演 13:00開場
ザ・シンフォニーホール

指揮：秋山和慶 ヴァイオリン：辻 彩奈
ハーブ：篠崎和子 ソプラノ：古瀬まきを
ディーリアス：
イギリス狂詩曲「ブリッグの定期市」
ブルッフ：スコットランド幻想曲 作品46
ヴォーン・ウィリアムズ：
交響曲 第3番「田園交響曲」



第265回定期演奏会

今をときめくマエストロと珠玉のショパン

2022年6月24日(金)
19:00開演 18:00開場
ザ・シンフォニーホール

指揮：カーチュン・ウォン
ピアノ：牛田智大
ショパン：
ピアノ協奏曲 第1番 小短調 作品11
リムスキー=コルサコフ：
交響組曲「シェヘラザード」 作品35



ハイドンマラソン HM.27

エステルハージ家後期、充実期の作品集！

2022年5月26日(木)
19:00開演 18:00開場
ザ・シンフォニーホール

指揮：飯森範親
ハイドン：
交響曲 第53番 二長調
Hob. I:53「帝国」
交響曲 第67番 へ長調 Hob. I:67
交響曲 第68番 変ロ長調 Hob. I:68



お問合せ/センチュリーチケットサービス TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

兵庫芸術文化センター管弦楽団

問合せ 0798-68-0203

第132回定期演奏会

プロコフィエフのドラマティックな音楽を味わい尽くす

道義のオール・プロコフィエフ

2022年4月15日(金)・16日(土)・17日(日)

指揮/井上道義 ヴァイオリン：服部百音
＜オール・プロコフィエフ・プログラム＞
ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.19
交響曲 第7番 嬰小短調 op.131



第133回定期演奏会

バーンスタインゆかりの傑作を楽しむ

佐渡裕 ショスタコーヴィチ5番

2022年5月13日(金)・14日(土)・15日(日)

指揮・芸術監督/佐渡裕 クラリネット/ラスロ・クティ
コーブランド：クラリネット協奏曲
バーンスタイン：プレリュード、フーガとリフス
ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 二短調 op.47



第134回定期演奏会

力強く輝かしい、ショスタコーヴィチの世界

下野竜也 レニングラード

2022年6月10日(金)・11日(土)・12日(日)

指揮/下野竜也 ピアノ/プラメナ・マンゴウヴァ
＜オール・ショスタコーヴィチ・プログラム＞
ピアノ協奏曲 第2番 へ長調 op.102
交響曲 第7番「レニングラード」へ長調 op.60



会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール 各日15時開演 A4,000円/B3,000円/C2,000円/D1,000円(全席指定/税込)
【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

テレマン室内オーケストラ

問合せ 06-6345-1046

第286回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに

日程 2022年4月8日(金) 18時30分開演
会場 大阪市中央公会堂中集会室 料金 ¥5,000(当日共)
演目 W.A. モーツァルト：交響曲 第41番「ジュピター」、ピアノ協奏曲 第26番「戴冠式」ほか
出演 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic

第287回定期演奏会 J.S. バッハ 管弦楽組曲 探求

日程 2022年4月21日(木) 18時30分開演
会場 東京文化会館小ホール 料金 ¥4,000(当日共)
演目 J.S. バッハ：管弦楽組曲 第2番・第3番※オリジナル版ほか
出演 指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 コレギウム・ムジクム・テレマン

バッハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since1963



プロ改組 50 周年 “挑” 広島交響楽団 定期演奏会 会場：広島文化学園 HBG ホール

第420回
プレミアム定期演奏会

2022年4/23(土) 15:00 開演
指揮/レナード・スラットキン
マーラー交響曲第6番 イ短調「悲劇的」



プレミアム定期演奏会 チケット料金
S:6,300円 A:5,800円
B:5,300円(学生:1,500円)

第421回定期演奏会

2022年5/27(金) 18:45 開演
指揮/下野竜也
マリンバ/小森邦彦
トミ・ライサネン:
マリンバ協奏曲「ポータル」(改訂版世界初演)
ブルックナー:交響曲第7番 ホ長調 (ハース版)




第422回定期演奏会

2022年6/10(金) 18:45 開演
指揮/チャールズ・オリヴィエリ=モンロー
オーボエ/フィリップ・トゥーンドゥル
R.シュトラウス:
オーボエ協奏曲 二長調 AV.144
スク:交響曲第2番 ハ短調 作品27
「アスラエル」




第423回定期演奏会

2022年7/8(金) 18:45 開演
指揮/準・メルクル ヴァイオリン/ポール・ホアン
メンデルスゾーン:
序曲「静かな海と楽しい航海」作品27
細川俊夫:ヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」
(共同委嘱・広島初演)
R.シュトラウス:
交響詩「ドン・ファン」作品20
交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯」作品28




第421回、第422回、第423回共通 チケット料金 S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)

<http://hirokyo.or.jp/>

アマビレフィルハーモニー管弦楽団

問合せ 072-697-9888

第11回定期演奏会
2022年6月17日(金)
19:00 開演 18:00 開場
茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) センターホール

メンデルスゾーン:フィンガルの洞窟 作品26
ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11
メンデルスゾーン:交響曲第3番 イ短調 作品56
指揮:松岡 究 ピアノ:三村 哲子

S席:5000円 A席:4000円 B席:3500円
アマビレフィルハーモニー管弦楽団事務局
contact@amabile-philharmonic.com



奈良フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 0743-57-2235

奈良フィルハーモニー管弦楽団 **第50回記念定期演奏会**

2022 4/17(日)
13:30 開演 (13:00 開場)
奈良県文化会館・国際ホール
近鉄奈良駅 東へ300m

入場料(全席自由)
前売り 一般 4,000円 高校生以下 2,000円
当日 一般 4,500円 高校生以下 2,500円

戴冠ミサ曲ハ長調K.317 W.A.モーツァルト
交響曲第4番ト長調 G.マーラー

ソプラノ/大原末子
アルト/山田愛子 テノール/鹿嶋晃紀 バリトン/西尾 颯史







岡山フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 086-234-7177

～秋山和慶ミュージック・アドバイザー就任記念～
蘇る、興奮の時
指揮/秋山和慶
ピアノ/松本和将

第72回定期演奏会
2022年5月22日(日)15:00 開演
岡山シンフォニーホール 大ホール

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第3番
ムソルグスキー/禿山の一夜(リムスキーコルサコフ版)
ストラヴィンスキー/火の鳥(1919年版)

S 5,500円 A 4,400円 B 3,300円 B2ス 1,000円
*Bコースは19歳以下および25歳以下の学生対象です。

チケットの問合せ:岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010・<http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>



瀬戸フィルハーモニー交響楽団

問合せ 087-822-5540

瀬戸フィルハーモニー交響楽団

2022.5.18Wed 香川県レクザムホール 大ホール
開場 18:00 開演 19:00
ヴァイオリン/川井郁子 メゾソプラノ/山下悦子 ソプラノ/藤谷佳奈枝

2022.5.19Thu 高知県立県民文化ホール オレンジホール
開場 18:00 開演 19:00
ヴァイオリン/大谷康子 メゾソプラノ/谷口睦美 ソプラノ/岡本知高

2022.5.21Sat 徳島文理大学むらさきホール
開場 13:00 開演 14:00
ソプラノ/井上ゆかり ピアノ/上原彩子 バリトン/宮本益光

2022.5.22Sun 松山市民会館 大ホール
開場 13:00 開演 14:00
ソプラノ/齊田正子 ピアノ/上原彩子 バリトン/宮本益光

演奏曲目 R.ワーグナー:奏劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第一幕への前奏曲
F.スメタナ:連作交響詩「我が祖国」より モルダウ ほか

四国ゆかりの演奏家による 指揮 大友直人

よんでん ふれあいコンサート



第404回定期演奏会

2022年6月9日(木) 午後7時開演
福岡サンパレス ホテル&ホール



ショスタコーヴィチ/ロシアとキルギスの主題による序曲 作品 115

ジャズ組曲 第1番

交響曲 第12番 ニ短調「1917年」作品 112

【チケット料金】 S席：5,300円、A席：4,400円、B席：3,300円、
学生席：1,500円 車椅子席(限定6席) 3,300円

ライブ配信



インターネットライブ配信は、クラシック専門ストリーミングサービス
CURTAIN CALLにて行います。

【ネットチケット(視聴券)料金】 ¥2,000

※ライブ配信終了後に期間限定でアーカイブの配信を予定しております。



指揮：井上道義

チケットお問い合わせ：九響チケットサービス ☎ 092-823-0101 <http://www.kyukyo.or.jp>

長崎OMURA室内合奏団 (NOCE)

問合せ 0957-47-6537

2021～2023 シリーズ 室内合奏団の魅力を探る

長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会



松原 勝也

松原勝也(コンサートマスター) 長崎OMURA室内合奏団

エルガー/序奏とアレグロ 作品 47

ラヴェル/クーブランの墓

バルトーク/弦楽のためのディヴェルティメント



♪ 第18回 長崎公演 5月20日(金) 19:00開演
長崎市民会館・文化ホール

♪ 第33回 大村公演 5月21日(土) 14:00開演
シーハットおむら・さくらホール

♪ 第1回 佐世保公演 8月27日(土) 14:00開演
アルカスSASEBO・中ホール

問い合わせ 認定NPO法人長崎OMURA室内合奏団 TEL:0957-47-6537(平日9時~16時) Email:oce02@omurace.or.jp <http://www.omurace.or.jp>

編集後記



▶「ブラボー」の声を聴かなくなつて久しい。かつては静寂の中に、曲の終焉を迎える曲で「ブラボー」が早すぎるというお客様からの苦情も多かった。それぞれのオーケストラ、主催者も工夫をして「曲の最後の響きが終わってから、拍手をするように」といった場内アナウンスを入れたりしていた。世界でもこのような、注意喚起のアナウンスを入れるのは日本くらいでしょうか。静寂をとて大切に日本人は嫌いではありません。▶そのトラブルも今はない。皆さん、原点に立ち返って、その演奏の素晴らしさに対する感謝の気持ちをすべて拍手に託す。昔に戻った。冷静に考えると、人の拍手は多彩な表現力を持っているように感じる。アンケートを取るならば「すごく良かっ

た」から「ふつう」、「あまり良くなかった」などの5段階、物理的には拍手の音量で計測できるのかもしれない。しかしながら、拍手の表現力は優れていて、もっと立体的に感じる。フォルテで演奏が終わった時の、拍手の初速?、静かに終わった曲の後の拍手の加速度?、カーテンコールの度に熱く盛り上がる拍手の密度?など。例えば指揮者が2回目以降のアンコールに応じてステージに戻って来た時、演奏した曲で活躍した演奏者を立たせる場面があります。これも演奏者によって微妙に拍手の大きさだけでなく、音色も異なるように思うことがある。演奏側、もしくは演奏を主催した立場からすると拍手の評価は結構厳しい。単に拍手をいただいただけでなく、その性格から色々その日の成果を感じ取れます。▶自分の「すごく良い演奏だと思った」もしくは「あまり感心しなかった」という気持ちを、特にクラシック音楽を聴き始

めた頃、どうも自分の感性に自信がなくて、周りの拍手で確かめることをしたりする。その結果、皆さんお気持ちが一つになり、お互いの拍手の相乗効果で回数を重ねるほどに拍手が盛り上がることもある。いずれにしても、ステージ側の人間にとっては、今日も演奏をやり切ったという満足感と、それを迎えてくれるお客様の拍手が一体となった時に、至福のひと時を感じる事が出来る。拍手の表現力はあなどれません。▶今は今で、素晴らしい拍手に期待していますが、「ブラボー」も少し懐かしくなってきた。コロナが明けて早くその日が戻ってきてもらいたい気もする。それはある日、自然に戻ってくるのか、「それは、本日から、「ブラボー」と言っていただけでもかまいません」という案内がでるのでしょうか。マスクを外すことが出来た日も。

(桑原)

指揮者の情報

アラン・ギルバートさん東京都交響楽団 首席客演指揮者の任期延長

東京都交響楽団は首席客演指揮者であるアラン・ギルバートさんとの契約を、2025年3月まで延長することを発表した。

群馬交響楽団の常任指揮者に飯森範親さん

群馬交響楽団は現ミュージック・アドバイザーの小林研一郎さんの後任に、飯森範親さんを常任指揮者として迎えることを発表した。任期は令和5年4月より3年間。令和4年4月からの1年間はアドバイザーとして、群馬の活動に助言する。

飯森さんは現在、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者を務め、4月からはパシフィック フィルハーモニア東京（現東京ニューシティ管弦楽団）の音楽監督、山形交響楽団の桂冠指揮者に就任する。

オーケストラ・アンサンブル金沢のアーティストック・リーダーに広上淳一さん

オーケストラ・アンサンブル金沢を運営する石川県音楽文化振興事業団は、M. ミンコフスキ芸術監督が2022年7月で退任するのに伴い、新たに広上淳一さんをアーティストック・リーダーに迎えることを発表した。4月1日よりアドバイザー、9月1日よりアーティストック・リーダー。広上さんは現在京都市交響楽団常任指揮者、札幌交響楽団友情客演指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO、東京音楽大学教授、京都コンサートホール館長を務めている。

表彰・受賞の情報

仲道郁代さん令和3年度文化庁芸術祭「大賞」を受賞



©Kiyotaka Saito

ピアニストの仲道郁代さんが令和3年度文化庁芸術祭の大賞を受賞した。受賞の対象は10月に東京文化会館で開催した「The Road to 2027 仲道郁代ピアノリサイタル 幻想曲の模様～心のかげらの万華鏡」

事務局などの情報

関西フィルハーモニー管弦楽団の楽団長に大野英人さん

関西フィルハーモニー管弦楽団は常務理事・楽団長の手塚裕之さんの後任として、大野英人さんが楽団長に就任を発表した。

訃報

指揮者の大町陽一郎さん



写真提供：東京フィル

日本を代表する指揮者である大町陽一郎さんが2月18日に老衰で亡くなった。享年90。ウィーン、ベルリンなどの欧州で活躍する日本人音楽家の先駆けとなった。1931年、東京生まれ。東京藝術大学、ウィーン国立アカデミーで学ぶ。ベーム、カラヤンらの薫陶を受け、1959年日本人指揮者として戦後初めてベルリンフィルを指揮。1961年より10年間東京フィルの常任指揮者を務めた。1968年ドルトムント市立歌劇場の指揮者に就任。欧州歌劇場に就任した日本人初の指揮者となった。1980年にはウィーン国立歌劇場で「蝶々夫人」を指揮。また、アメリカのクリーヴランド管弦楽団でのデビューを果たした。1982年から2年間ウィーン国立歌劇場の専属指揮者。1990年代には上海、北京で「トゥーランドット」を指揮した。

1988年より2年間、ケルン日本文化会館館長として日独の文化交流に貢献、1992年にはドイツ連邦共和国功労勲章「大功労十字」を授与された。

元N響の名手たち

元NHK交響楽団の名手で日本を代表する演奏家の皆さんが相次いで亡くなった。12月3日に元首席ヴィオラ奏者の川崎和憲さん。享年66。1月17日に、元チェロ奏者の小野崎純さん。享年83。2月22日に元首席フルート奏者の小出信也さん。享年83。2月25日に元ファゴット奏者の菅原睦さん。享年88。

大阪交響楽団の元首席フルート奏者の小林志穂さん

大阪交響楽団の元首席フルート奏者の小林志穂さんは、かねてより病氣療養中でしたが、12月5日に亡くなった。享年46。

【賛助会員】

●法人会員

オリックスグループ
NPO 音楽は平和を運ぶ
キックマン株式会社
コクヨ株式会社
株式会社 資生堂
公益財団法人日本製鉄文化財団
株式会社日本旅行
一般財団法人ヤマハ音楽振興会
ライオン株式会社
公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

(五十音順)

*連盟の活動をご理解いただき支援して下さる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いしています。

【加盟38団体】

〈正会員〉

札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
NHK交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京ニューシティ管弦楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
読売日本交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
京都市交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団

〈準会員〉

千葉交響楽団
藝大フィルハーモニア管弦楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
富士山静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
京都フィルハーモニー室内合奏団
アマビレフィルハーモニー管弦楽団
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
テレマン室内オーケストラ
奈良フィルハーモニー管弦楽団
岡山フィルハーモニック管弦楽団
瀬戸フィルハーモニー交響楽団
長崎 OMURA 室内合奏団



日本オーケストラ連盟ニュース第107号 2022年3月31日発行

発行所 ● 公益社団法人 日本オーケストラ連盟

編集・発行人 桑原 浩 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F

Tel: 03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp/>

印刷 ● 錦明印刷株式会社 制作 ● 音楽編集者倶楽部「カノン」/ 林優子